

令和3年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立貴志中学校

作成日

令和4年3月1日

1 教育目標

豊かな心情と思いやりの心を持ち、自ら考え、ねばり強く実践する生徒を育てる。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力学習状況調査、和歌山県学習到達度調査の正答率がそれぞれ平均を上回る。 全国学調生徒質問紙において「わかる授業(国語・数学)」を8割以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学調生徒質問紙において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」の項目を100%目指す。 いじめの早期発見を徹底的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における学校生活において生徒の健康・安全の確保。 全国学調生徒質問紙において「人の役に立つ人間になりたい」を9割以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学調生徒質問紙において「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」において国・県の調査結果に近づける。
重点目標意見に対する	<ul style="list-style-type: none"> 学校において生徒が「わかる授業」を展開しようとしていることは良いことである。 全国学力学習状況調査や和歌山県学習到達度の結果だけを取り上げるのではなく皆が参加できる授業展開を希望する。 指標のアンケート結果は国語:90.4%・数学:80.5%と達成できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育を学校独自性で取り組んでいる。 自然に恵まれた環境のなかでの教育活動は、子供たちにとっても成果がある。 規範意識を高め生徒の健全育成を目標としている。 指標のアンケート結果は、99.6%とほぼ達成できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の学校生活で基本的な生活習慣を高めようとしている。 部活動において健やかな体の育成を図ろうとしている。 情報モラルがまだ徹底できていない。 指標のアンケート調査結果は、94.5%と達成できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「貴志の教育を高める会」は貴志地区の伝統であり誇りである。今後も継続していく事が大事である。 家庭、地域、学校との連携が図れるような目標設定である。 指標のアンケート結果は、33.5%であり国:43.8%・県:42.7%と比較すると劣っておりこれからの課題である。
意見組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> 「学び合いの学習」を進めていることは良い。これからの時代は、人にうまく話すことが大事なのでこの授業スタイルを進展させてほしい。 「本時のめあて」を板書していることで生徒はわかりやすい。 ディスカッションをしている授業があったが将来的に役に立つと思う。 コロナ禍のなかでの授業工夫ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をできる生徒が多くなってきている。更に多くの生徒ができることが出来れば良い。 道徳教育を保護者にも啓発しなくてはならない。 いじめが根絶するよう更なる道徳教育の充実を図ってほしい。 通学路において交通マナーの良くない生徒への指導を徹底して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育的行事の更なる活性化を目標にして取り組んで欲しい。 遅刻をしている生徒は常習化しているようである。改善できる点については、早急に取り組んで欲しい。 情報モラルの啓発を更に増加させればネットトラブルなどは減少していくものと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校からの配布物が家庭に届きにくい状況なので改善策を講じて欲しい。 地域との連携が少し希薄なような気がする。更に回覧板などを活用し広報活動を図ってほしい。 花壇への花うえが行き届いている。 育友会活動が盛んである。また、その活動が生徒たちに還元できている。しかし、今年度もコ
取組見の適切な検証結果に対する	<ul style="list-style-type: none"> 補充的な学習を更に深めていけば学力も向上すると思われる。 和歌山大学との連携による教育ボランティアの取組は他校に比べて進んでいると思われる。 教員同士の公開授業が多くお互いに切磋琢磨しながら授業力を高めようとしている。 別室(ステップルーム)指導での授業は生徒一人ひとりを大切にしていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中・休憩中を問わず教員の生徒指導への危機感が強い。そのため、今年度は生徒が落ち着きを見せ始めた。 道徳科においては、様々な教材を視覚的に取り入れ生徒の理解度を高めている。 教員全体が一致団結をしている。そして、生徒指導に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前に比べると学校全体が落ち着いてきているように思う。 体育的行事を増やし更なる体力の向上を目指せばよいと思う。 学年集会や「生徒指導だよ」学校便りなどにおいて情報モラルに対して取り組んでいる。 警察本部によるキッズサポートは大変効果があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事への保護者参加は年々増えてきているように思う。育友会活動の影響も大きいと思われる。 「貴志の里展」は老人クラブ連合会と地域・学校との繋がり懸け橋となっている素晴らしい取り組みである。 学校行事は、更に地域へ発信して来校を促すと良い。 各家庭と地域との繋がりを深めるための発信源を学校で取り組んで欲しい。
改善年度に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> 「グループ学習」を更に進め全ての生徒が意欲的に授業参加できるように取り組めば更に学力向上に繋がる。 授業において生徒の「話す機会」をもっと多くすれば将来的に役立つと思われる。 今年度も、授業改善に取り組んだことがよく分かる。次年度も更なる改善を目指して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳に関する外部講師を要請して保護者も講演を聞くようにすればよいと思う。 保護者の道徳心を高めるような取り組みを早急に考えなければならぬと思う。 子供の躰より保護者への道徳啓発が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSでのトラブルが後を絶たない現状を踏まえ、早期対策を講じるべきである。 道徳科とタイアップし「社会のルール」を更に生徒に学習させるように尽力して欲しい。 学校施設を休日に開放させて「体を動かす楽しさ」を身に着けさせたらよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事への保護者参加増員を育友会とタイアップすればよいと思う。 地域の人材を活用した講義や講演会を積極的に取り入れ更に活性化を図る。 学校運営協議会を通じて地域と学校との連携を更に深める。

3 その他のご意見

- 学校の立地条件が悪いので、地域との繋がりがやや弱くなっていることが残念である。
- 通学路において外灯がない箇所があり心配である。
- 新型コロナウイルス感染の対応は適切であった。
- 携帯電話を所持している生徒が多くなった。
- 登下校の交通マナーやモラルを更に啓発して欲しい。
- 今年度、「貴志地区防災の集い」を開催した。貴志地区全世帯対象としたことに大きな成果があった。